



研修生⑤
特定非営利活動法人 NPOスチューデント・
サポート・フェイス

アウトリーチ(訪問支援)研修

Iwate Panorama Fukushikan

NPO法人いわてパノラマ福祉館

実地研修概要

- 期 間 H25年8月19日(月)～30日(金)
- 場 所 佐賀県佐賀市
- 受入団体
特定非営利活動法人
NPO スチューデント・サポート・フェイス



Iwate Panorama Fukushima

特定非営利活動法人 NPOスチューデント・サポート・フェイス

<活動概要>

- 1.アウトリーチ(訪問支援)事業
- 2.コネクションズ事業
- 3.教育支援事業
- 4.キャリア形成支援事業
- 5.メンタルヘルス事業
- 6.支援ネットワーク事業など



Iwate Panorama Fukushima

実地研修内容

支援現場における実地訓練
～現場に求められる実践能力の育成～



Iwate Panorama Fukushima

アウトリーチ（訪問支援）事業

- 団体における特徴や特色

教育・医療・福祉等複数分野の知見の集約によって、発展的に確立された訪問支援手法と連続支援行動を可能とする重層的支援ネットワークを基に事業を展開している。



Iwate Panorama Fukushima

さが若者サポートステーションにおける 相談実績

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	計
相談件数 (延べ件数)	3,231	7,083	6,888	7,725	10,020	10,621	10,286	55,854
面談人数 (月延べ件数)	2,235	4,670	4,471	4,302	6,677	8,108	7,138	37,601
受付カード数 (月延べ件数)	204	313	357	423	511	528	627	2,963

- ・ アウトリーチ関連の支援対象者約45%



Iwate Panorama Fukushima

アウトリーチ(訪問支援)同行<事例>

- ・ 30代男性、高校中退、ひきこもり歴約15年

家庭内で出来る仕事、内職の紹介からの導入



短時間労働による就労意欲の増加



具体的な就職支援・キャリアカウンセリング



Iwate Panorama Fukushima

アウトリーチ(訪問支援)に関する考察

事前準備の必要性

情報の収集と分析をする際、事前準備が訪問の成否を決める重要な過程であることを意識する。



信頼関係の構築・家庭環境の把握

環境の確認

訪問形態や頻度、関与期間など、支援者としてどのくらい関われるか確認する。



自己・支援機関側の分析も必要

他機関との連携

本質的な問題の改善には多面的アプローチが必要である。



重層的な支援ネットワークの活用



Iwate Panorama Fukushima

さが若者サポートステーション プログラム

<農業体験>

- ・夏野菜の収穫作業および追肥
- ・参加者

スタッフ1名、利用者1名、研修生2名



Iwate Panorama Fukushima

さが若者サポートステーション プログラム

＜巡回図書＞

- ・入院患者さんへの図書貸し出しサービス
- ・参加者
スタッフ1名、他団体ボランティア1名、
研修生2名



Iwate Panorama Fukushima



たけお若者サポートステーション見学

- ・ H25年5月開設
- ・ 佐賀県で2か所目、東西2カ所の拠点体制



Iwate Panorama Fukushima

さが若者サポートステーションの役割

相談件数1位

来所者数10位

進路決定者数2位



- ・アウトリーチ(訪問支援)からのアプローチがもたらす、潜在的なひきこもりの発見と掘り起こし
- ・従来の支援方法にない積極的かつ直接的な支援
- ・専門家による社会参加から自立までの責任を持って見届ける体制の確立



Iwate Panorama Fukushima

学習支援員配置事業

- ・ 目的

不登校や不登校傾向ならびに別室登校している児童・生徒の学習支援や相談相手となり、学校生活の支援を行う。



Iwate Panorama Fukushima